

各 位



2025年11月7日

会 社 名 株式会社メガチップス
代 表 者 名 代表取締役社長 肥川 哲士
(コード番号 6875 東証プライム)
問い合わせ先 財務部部長 荒木 陽子
(TEL 06-6399-2884)

中長期経営方針の公表について

当社は、本日開催の取締役会において、次期の中長期経営計画の方向性を決定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。引き続き、中長期経営計画の策定を進め、詳細が確定いたしましたら改めてお知らせいたします。

記

一メガチップスの中長期に目指す姿一

当社は、「システム（機器）のソリューションを提供し、顧客と共に発展する」ことをミッションとして掲げ、新たな価値創造に挑戦し、独創性のある幅広いソリューションを顧客に提供することで、より豊かで安心できる社会の実現に貢献いたします。

事業戦略といたしましては、アミューズメント事業とASIC事業の基盤強化に加え、ASSP事業の育成とソフトウェア事業の立ち上げを推進し、収益事業の4本柱を確立することで、さらなる成長力と収益構造の強化を図ります。

また、財務戦略といたしましては、投資有価証券として保有するSiTime社株式を計画的に縮減し、事業活動で生み出すキャッシュフローとあわせて成長投資へ活用するとともに、株主還元の強化に活用し、財務の健全性を維持しつつ資本効率を改善してまいります。

以上の取り組みにより 「2030年度にROE 8 %以上」、「PBR1倍超の早期実現」 を目指してまいります。

- ◆ **事業成長目標** : 事業ポートフォリオの強化により収益力を拡大し、2030年度に売上規模の倍増となる900億円の達成
- ◆ **資本収益性目標** : 2030年度までにSiTime社株式の当社の持分比率を5%まで縮減

以 上

※ 将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている計画、方針等に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び本資料の発表日現在において合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束するものではありません。実際の業績等は今後の様々な要因によって予想と大きく異なる可能性があります。

中長期に目指す姿

事業戦略と財務戦略を両輪とし「2030年度：ROE 8 %以上」を達成し、PBR1倍超の早期実現を目指します。

事業戦略

事業業績の拡大

- アミューズメント事業およびASIC事業の事業基盤強化による収益力の拡大。
- ASSP事業の育成による黒字事業への転換
- 事業提携・投資・M&A等による新規ソフトウェア、ソリューション事業の立ち上げと収益事業への育成

財務戦略

財務の健全性を維持しつつ、資本効率を改善

- SiTime株式の計画的な売却。
事業活動で生み出すキャッシュ・フローと併せて、成長投資の原資とする。
- SiTime株式の売却益を活用して、大幅な増配と、相当規模の自己株取得を計画する。

2030年度目標

事業成長目標

- 収益事業の4本柱(アミューズメント事業、ASIC事業、ASSP事業、ソフトウェア事業)を確立して、売上900億円以上を実現する。

資本収益性向上

- 株主資本の適正化の実現。
政策保有株式の縮減
(SiTime株式の計画的売却により、2030年度までに当社の持分比率を5%まで縮減)。